

環境にやさしい 燃料電池バスが 大阪で運行中



※株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ様
5社からの寄附を財源として
大阪府が導入費用の一部を補助しました。

大阪府域の以下2エリアで運行しています。

大阪シティバス
住之江営業所を起点とする系統(大阪市南部)

お問い合わせ 大阪シティバスHP



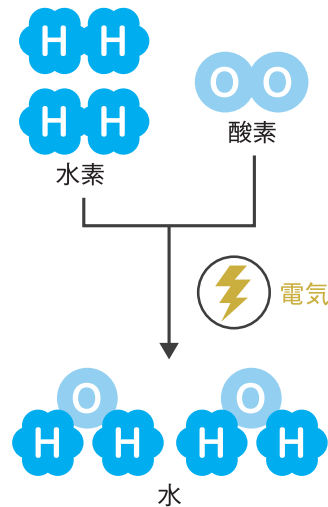
関西国際空港内
(第1ターミナルビル～展望ホール他)

「第1ターミナルビル～展望ホール」の運行情報については、
右記リンクをご確認ください。



水素エネルギーって？

- 水素は空気中の酸素と反応させて電気エネルギーとして利用することができます。
- また、燃焼させて熱エネルギーとして利用することもでき、燃焼時にはCO₂を全く排出しません。
- 長期大量貯蔵が難しい電気を水素の形に変え、貯めて、運んで、需要地で電気に変換し使うこともできます。
- 現在、水素はエネファームやFCVなどに使用されており、脱炭素社会実現への鍵を握る存在として、暮らしの様々な場面で安心・安全に活用されることが期待されています。



燃料電池バスって？

車両特性

- 水素と酸素の反応によって作られる電気を使ってモーター駆動により走行するため、騒音や振動が少なく、快適な乗り心地です。
- 1回の水素満充填で、約200kmの走行が可能です。
- 大容量外部給電システムを搭載し、高出力かつ大容量の電源供給能力を備えているため、災害時に電源としての利用が可能です。

環境面のメリット

- 走行時に排出されるのは、水素と酸素の反応で作られる水だけで、二酸化炭素や環境負荷物質を排出しないため、環境性能に優れています。

